

# 広報広聴特別委員会 申し送り事項

本委員会は、IT化など、広報・広聴を取り巻く環境の変化と広報・広聴の重要性の高まりに対応するとともに、区議会の主体的な活動を支える議会図書室の整備拡充に向けた調査研究を行うために設置され、この間、精力的に委員会活動を行ってきた。

一方、地方分権によって地方公共団体の自己決定・自己責任が拡大し、住民の代表機関である議会には監視機能に加えて、政策立案及び調査機能の充実が強く求められている。また、「区民に開かれた区議会」を目指す本区議会にとって、区民に対する説明責任を果たし、区民との情報の共有化を図ることが重要課題となっている。

このような状況を踏まえ、本委員会は広報広聴活動の充実及び議会図書室の整備拡充に向け、以下の項目について引き続き論議を深めていく必要がある。

## 1 区議会だよりについて

### (1) 紙面構成について

限られた紙面を最大限に活用し、読みやすい紙面づくりを基本とし、2ページから10ページの構成により発行している。

平成11年第1回定例会号からは1面及び最終面をカラーに、平成12年第1回定例会号からは代表・一般質問の文字を、さらに平成17年第1回定例会号からは委員会等の定例会活動報告などの文字をそれまでの14級(10ポイント)から16級(11ポイント)に大きく変更し、全ページに渡り見やすさの改善を図ってきた。

今後とも、ページ数の弾力的運用と紙面の有効活用により、一層見やすい紙面づくりを検討していく必要がある。

### (2) 掲載記事について

区議会だよりは、代表・一般質問、会議日程、委員会の活動、可決した意見書、議案の審議結果等を中心に掲載してきた。特に、「投票システム」の導入に合わせて、議案に対する各議員の賛否の結果を掲載するなど、区民の目線に立った改善を行ってきた。

今後とも、区議会の活動を幅広く掲載し、請願・陳情の論議結果の概要等を含めた内容をできるだけわかりやすく簡潔な文章にしていくと

もに、写真や図表等を取り入れながらレイアウトの工夫をしていく必要がある。

### (3) アンケートはがき等の実施について

第173号(平成16年第2回定例会号)の紙面内において、アンケートはがきを掲載し、「区議会だより」について区民の意見や感想を広く募集した。また、同号から1面上部にQRコード(二次元バーコード)を掲載し、区民等が携帯電話の電子メール機能を使い、簡便に意見や感想を送信できるようにした。

今後とも、限られた紙面の中で工夫しながら、年数回のアンケートはがきを掲載するなど、区民等の意見を直接的に聴く体制づくりをしていく検討が必要である。

### (4) 傍聴者アンケートへの対応について

本委員会は、本会議及び各委員会の傍聴者から区議会だよりや本会議・委員会を傍聴した感想等のアンケート調査を実施している。このアンケートについては、区議会だより紙面上で紹介あるいは改善事項等を掲載してきたが、区議会だよりの発行が年4～5回と限られており、今後、アンケート協力者に迅速にフィードバックするための方策について検討していく必要がある。

## 2 区議会のホームページについて

### (1) ホームページの活用について

平成14年11月から、議会活動等に関する情報を積極的に提供するため、区議会独自のホームページを開設したが、急速に進展するIT化や電子機器の技術革新に対応したホームページへ発展させ、次の事項について検討していく必要がある。

なお、ホームページの文字・画像の拡大及び内容を読み上げるソフトの導入、いわゆる「ホームページのバリアフリー化」に向けた区議会ホームページについても検討していく必要がある。

#### メールマガジンの充実

メールマガジンは、議会情報を速報的に提供する方法として相当の効果がある。今後、平易な言葉を使用するなど、読みやすい、親しまれるメールマガジンにしていくための検討が必要となる。

#### 掲載内容の検討

区民への区議会の情報提供を迅速化するため、平成16年第1回定例会から各会議等の閉会后約2週間を目途に、速報版としてPDFファイルにより審議内容を公開するとともに、平成16年12月には区議会ホームページのサイト内検索及びサイトマップを公開し、利便性を高めた。

今後は、さらなる区民との情報の共有化を推進するため、委員会日程等の事前公表など、掲載する情報の内容等を検討していく必要がある。

高度化する情報通信機器等の活用

ブロードバンド化（高速通信化）が急速に進展する中で、インターネット上での画像や音声の活用も可能となってきた。今後、広聴の充実を図るため、区民との双方向通信の活用方法や電子機器の整備等の検討をしていく必要がある。

## (2) 電子メールの活用について

電子メールについては、費用対効果や環境面からも、さらに有効活用する必要があり、区民との意見交換や情報提供等の積極的な活用策を検討していく必要がある。

### < 参考 >

議会のIT化については、「千代田区議会議会活動条件整備等検討会」及び「三常任連合審査会小委員会〔議会運営のIT化に関する小委員会〕」の報告にまとめられているが、区議会の調査機能の拡充を図るため、今後とも、日々進化する情報通信技術の活用や新たな情報通信機能の導入、既存設備の充実強化を図るため議会全体で検討していく必要がある。

## 3 議会図書室

### (1) 議会図書室の機能整備について

議会図書室は、狭隘化のため平成15年度に改修したが、新庁舎整備計画に伴い、新たな図書館との連携をも視野に入れた図書室管理規程を整備するとともに、購入・寄贈図書や執行機関で作成した資料、他の自治体・議会の資料の活用及び蔵書方法など、利用しやすい議会図書室整備に向け論議していく必要がある。